

図書館通信

麻生高等学校 図書館
2022・6

麻生高校の先輩の教育実習生に聞きました号



5月23日（月）から6月3日（金）の2週間教育実習を行った先輩のお薦め本です。

H30 年度卒業生 英語 3年E組

Q1 高校時代に、読んで良かった本は何ですか。

『平常心のコツ』 上西 聡 著



高校時代に、読んで印象に残った本は『平常心のコツ』です。この本には平常心を保つための93の言葉が書かれています。また、乱れた心を安定させたり、平常心を保つための物事の考え方や実践方法が紹介されています。私は高校時代に、勉強や将来やりたいことについて悩んでいましたが、この本を読み、前向きな気持ちになることができました。

特に印象に残った言葉は、「失敗した」のではなく、「成功のチャンスを得た。」と考える。です。定期試験や模試で思うような点数が取れなかったり、問題に答えられなかった時に、失敗や挫折からたくさんのことを学ぶことができるとポジティブに考え、私は悩みを解消することができました。

勉強や進路、人間関係に悩んでいた、本に興味のある方はぜひ手に取って読んでみて下さい。

受験勉強に悩む君には、こんな本も図書館にあります。



『手紙屋 蛍雪編』 喜多川 泰 著

「何のために大学に行くのか」悩んでいる主人公が、手紙屋とのやり取りで、勉強することの意味や楽しさを見いだす。手紙屋の「未来を拓く10の教え」は何か？読んでみよう！

『受験生の心の休ませ方』 加藤 諦三 著

著者は心理学者。自らの青春日記と共に受験生の心をほぐします。焦らずありのままの状況を認め、自分の選択を自覚することが大切。様々な悩みや受験の重圧に、たんと乗り越えるヒントを与えてくれる本。



